

令和3年度第3回袖ヶ浦市郷土博物館協議会

1 開催日時 令和4年2月18日（金）

2 開催場所 書面会議

3 出席委員

委員長	伊藤 誠 (意見書提出あり)	委 員	加藤 みどり (意見書提出あり)
副委員長	武田 弘 (意見書提出あり)	委 員	岩崎 照代 (意見書提出あり)
委 員	前沢 幸雄 (意見書提出あり)	委 員	菊池 眞太郎 (意見書提出あり)
委 員	高橋 佳代子 (意見書提出あり)	委 員	篠原 美智代 (意見書提出あり)
委 員	友田 賢司 (意見書提出あり)	委 員	唐木 義昭 (意見書提出あり)

4 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5 人
傍聴人数	0 人

5 議題

- (1) 令和3年度郷土博物館事業の成果と課題について
- (2) 令和4年度袖ヶ浦市郷土博物館経営方針及び重点施策(案)並びに令和4年度事業計画(案)について
- (3) その他

6 議事 本会議については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた会議を中止し、書面会議にて開催することとした。

そのため、各議題に対して、委員から頂いた意見を取りまとめたものを提示し、会議報告とするものである。

議題（１）令和３年度郷土博物館事業の成果と課題について

- 伊藤委員長
- ・企画展は、見学者が増えており良いと思います。
 - ・博学連携事業は学校数・人数も増加し良い方向だと思います。
 - ・教育事業は、今後も実施して下さい。
 - ・友の会・市民学芸員の活動に感謝します。

- 事務局
- ・企画展は、それぞれ普段の調査研究の成果が出せたと考えます。博学連携事業は、コロナの影響で後半は中止が相次ぎましたが、資料の貸出等で対応しました。教育普及事業、講座関係は会場を根形公民館にする等、感染対策を講じ、工夫して実施してきました。
 - ・コロナの影響でイベント等の制約もあり、友の会活動は、ここ２年やや停滞していた感は否めませんが、各グループの活動は地道に続けてきました。令和３年度はできませんでしたが、令和４年度は４月に総会・記念講演会も予定しています。市民学芸員は、博物館の開館４０周年記念企画展をはじめ、各自の活動が博物館事業と連携する形で活躍しています。今月は、来月にかけて、葉月の会の植物画展ソデフローラⅨを開催します。また、養成講座の開催により、７名が新たに加入予定です。

- 武田副委員長
- ・感染拡大しているコロナ禍、計画している行事の中止や縮小がしかたなく残念です。

- 事務局
- ・教育普及事業は特に影響が大きかったですが、前年は中止にしたものでも、今年度はやり方を工夫して実施できたものもあります。特にミュージアム・フェスティバルは、これまでとは規模・内容を変更し、そではなく体験会として実施しましたが、今後につながる成果が出せたと考えます。

- 前沢委員
- ・６月の第６学年の日本の歴史の学習では、「縄文のむらから古墳のくにへ」について古墳見学、勾玉づくりなど指導内容に沿った学習が進められました。
 - ・１月の第３学年の昔の道具体験学習では、灯りの歴史、旧進藤家での炭火アイロンや唐箕体験など非常に貴重な体験ができました。全ての体験が教科書に準じた内容であるため、事前・事後の指導を有効的に行えました。
 - ・本市の郷土博物館は、学校や子供たちにも近い存在であり、主体的に進める調べ学習においても丁寧に対応していただき、深い学びにつながっている

と感じます。

- 事務局** ・元教職員が社会教育指導員として博学連携事業に関わっているおかげで、博物館としても学校の事情や授業の実際等も以前より理解しやすくなりました。今後もこのような人材に博物館で活躍してほしいと思います。
- 篠原委員** ・博図公連携事業で公民館と連携をとって進めたことは、とても意義があると思います。ザリガニ釣り体験、親子で虫取り等「袖ヶ浦の自然と遊ぶ」体験はとても大切だと思いますので、今後も継続していただければと思います。
- 事務局** ・コロナの影響もあり、昨年度から公民館等からの依頼が多くなっています。博物館を普段利用しない公民館利用者に博物館を知ってもらう良い機会であるので、今後なるべく協力したいと考えています。
- 加藤委員** ・コロナ禍の中、企画展等への参加が減少していることは、しかたのない事でその中でも企画展やロビー展で博物館の皆様が努力されていることがよくわかります。ご苦労様です。
- ・博学連携でも各校へ貸し出しの「資料の教材セットの見直しを図る必要がある」とのことですが、内容の充実とともに、各小中学校の先生方の要望を把握し、(すでに行っていると思いますが) 子供達が興味深く見てくれる形にするために、例えば市民学芸員の協力を得て作るなど、よいのではないかと思います。
- ・万葉植物園の歌碑に工夫するというアイデアはとてもよいと思います。QRコード等利用が進んでいくといいと思います。万葉植物園の散策用ワークシートもいいと思います。
- 事務局** ・入館者数については、昨年度に比較すれば徐々に回復しているとも言えるので、今後も魅力ある企画を提供していけたらと考えます。
- ・総合教育センターから貸し出している教材セットについては、一度引き上げてメンテナンスも兼ねて内容を見直したいと考えています。市民学芸員にも協力をお願いしたいと思います。
- ・万葉植物園の歌碑へのQRコード添付については、できることから少しずつ進める意向です。

- 岩崎委員** ・コロナの感染拡大が収まらないなか知恵を絞って興味深い企画展を開催したことは職員の方々の努力を感じました。なかなか入館者数が伸びなく、モチベーションを保つのも大変だと思いますが、地道に続けていくことが発展につながると思います。
- ・万葉植物園については少しインパクトが弱いかなと感じております。若い人たちにも興味を持てるようなカラフルな表示など工夫してみても良いかと思います。
- 事務局** ・企画展・特別展を開催すると、来館された方からの反応や新たな情報提供もあり、それが職員のモチベーション維持にもつながっています。今年度の特別展「かつて見た袖ヶ浦の海」ではその傾向が顕著であり、特別展終了後も新たな資料の発見や、展示を見た方からの情報提供が引き続き寄せられています。
- ・秋に「Sodegaura's 結びと守りの会」がイベントで万葉植物園を活用しましたが、その際に作成した博物館周辺のイラストマップを提供していただきました。カラフルでかわいいイラストが描かれています。これらも是非活用していきたいと考えます。
- 友田委員** ・状況の変化の激しいコロナ禍の下、各団体等がその活動を制限される中で、状況に対応しながら行われた各事業の結果はまずまずの実績であると評価いたします。
- 事務局** ・イベント等は人数制限や内容の変更等、状況による対応が求められましたが、博物館の主要事業である企画展・特別展は、計画通り実施することができました。特に特別展「かつて見た袖ヶ浦の海」は、海の学びミュージアムサポートの助成を受けて実施したこともあって、印象的な展示物を多く出品することができ、好評を得ました。
- 菊池委員** ・成果と課題については、各事業別に丁寧に意見が述べられているので評価できる。
- ・コロナ禍での入館者の減に苦慮されている状況がうかがえる。
- ・展示事業の「アクアラインなるほど館」については、利用者（学校）に、

利用に際し何を求めているか、聞いてみたらいかがでしょうか。

・地域資料活用事業・調査研究事業等では、資料整理が進まない、調査研究が十分行えないという課題が、毎年のように見られ、なかなか解消しない現実がある。これに対しては、難しい面も多々あるが、人員の増員を繰り返し要求してもらいたい。今後、山野貝塚についての業務も増えることを考える必要がある。

・今後、市民学芸員・友の会・ボランティアの活動が増えてくることが予測されるなか、体制を維持し活発な活動を進める上でも、人員が必要になるのではないか。

事務局

・コロナ禍においては、施設の入館制限もあり、また繰り返される感染拡大の波に未だにコロナ前の人流は戻っていないと考えます。それでも、土日祝日や企画展・特別展開催中は、多くの来館者があります。

・アクアラインなるほど館については、現在開催中の企画展「アクアラインとなるほど館の軌跡」において、「なるほど館にどのような活用を求めるか」等についてアンケートを実施しています。今後学校にも機会があれば実施したいと考えます。

・人員については、歴史・考古・民俗・自然のそれぞれの分野について専門職員が在籍するのが理想ですが、現在はそのような体制ではありません。そのような中で特に資料整理・調査研究は緊急性が低いことから後回しにされがちで、資料整理は会計年度任用職員が頼りであるという現状にあります。国史跡山野貝塚の研究や今後の事業を考えると、考古の専門職員は特に重要であると思います。市民学芸員の活動支援も、会計年度任用職員が大きな力になっています。

唐木委員

・博物館の独自性の追求の中に地域の企業、NPO 等との交流、連携の強化という項目がありますが、特に企業とかかわりについて、何か具体的に実施して来た事があれば紹介願います。企業とかかわりは、博物館の活動を広めて行く上で一つの項目となると思います。

・これは私の勝手な思い込みですが、是非、椎の森工業団地とのつながりを持ち古い時代ばかりではない、現代の袖ヶ浦を博物館で描いて欲しいと思います。椎の森工業団地は様々な企業が参入しており、工業団地の成り立ち、

それぞれの企業の歴史など、袖ヶ浦の新しい切り口を追って見るのも、いいのではないかと思います。

事務局 ・かずさFMや J:COM、房総ファミリア新聞といったマスコミ関連の企業との交流はありますが、その他の業種については、企画展等で一時的な交流はあっても継続して関わることはあまりなかったと思います。NPO は、市制施行30周年記念事業の関係もあり、Sodegaura's 結びと守りの会が博物館の屋外施設を活用してイベントを開催する、そちらのメンバーが市民学芸員を希望して養成講座を受講するといった交流がありました。

議題（2）令和4年度袖ヶ浦市郷土博物館経営方針及び重点施策(案)並びに令和4年度事業計画（案）について

伊藤委員長 ・市民学芸員自主企画展に期待します。
・友の会は色々と活動しており、素晴らしいと思います。
・開館40周年を市民と協働しながら進めると良いと思います。
・事業計画が実施出来れば人が集まり、又 親しみやすい博物館になると思います。

事務局 ・開館40周年記念の市民学芸員自主企画展は、企画展ワーキンググループに参加しているメンバーがそれぞれのテーマで調査研究を進めています。この成果を博物館と協働で1つの企画展にまとめあげていくのですが、博物館的な調査研究手法と市民目線のアイディアが一体となって、おもしろいものになるのではと見えています。

武田副委員長 ・国史跡・山野貝塚の途中報告、発掘の状況などアピールして皆様にもっと関心を持っていただく。

事務局 ・山野貝塚については、生涯学習課と連携し、講演会開催時期に合わせたロビー展示等を今後も実施していきます。

篠原委員 ・上総掘り講座生に袖ヶ浦高校の生徒が参加されているということ。技術伝承を次世代へ繋げる事が難しいと感じていましたので、とてもありがたいと

思います。是非、担い手になって欲しいと思います。

・中島敏明さんの展覧会はすばらしかったので、又 美術関係の企画がある
といいなと思っていました。「美術Ⅱ」期待しています。

事務局

・袖ヶ浦高校の生徒は、博物館紹介のHPも作成し、その中で上総掘りについて紹介する等、連携が進んでいます。今年で卒業する生徒もいますが、来年度もまた講座に参加してくれることと思います。

加藤委員

・調査研究にある「袖ヶ浦市内の生物に関する調査」が楽しみです。特に植物に関しては、外来植物が増えてきていて、昔からある植物が少なくなっているという聞きます。特に気になることです。

・令和4年度重点取組がいくつかありますが、「万葉植物園の活用（市民学芸員協働実施）」の中で「歌碑に工夫すること」と、現在ロビーに展示している万葉植物園の植物の写真や植物画（ボタニカルアート）の所にもうひと工夫して、植物の説明や歌の説明や関連する情報等を展示していくとよいと思います。

事務局

・植物の調査に関しては、フィールドワークが重要になると思いますが、職員だけで調査を行いデータを蓄積するのは限界があります。歴史・民俗といったジャンルで郷土を学ぶ会が調査を続け成果をあげていますが、植物や自然の方でも市民学芸員や友の会の協力が欠かせないと考えます。今後、植物に詳しい万葉グループや葉月の会のメンバーを中心に協力を呼びかけていきます。ロビーの万葉植物の写真等のコーナーも市民学芸員が研究成果の発表等に活用できるスペースです。葉月の会が描いた万葉植物の絵に説明をつける等、連携した活動ができます。

前沢委員

・来年度も博物館、学校が連携し、子供たちの充実した学びにつなげていきたいと考えている。

岩崎委員

・博学連携事業の学校への出張がなかなか難しい状況だと思いますが、小集団に分けての実施など手法を変えて実施ができたと思います。何より予定されている事業が今年こそはスムーズに実施できることを願うばかりです。

友田委員 ・令和4年度もコロナは落ち着くことはまず無いと思います。計画も中止や延期となることも有ると思いますが、なるべく多くの事に着手し、成果を残せるようお願いします。

事務局 ・博学連携や教育普及事業については、参加人数を少なくし、広い会場で行う等、コロナ禍でも実施できる方法を模索してきました。その甲斐あって、昨年度と比較すると今年度はかなり実施できています。来年度もコロナの状況は大きく変わらないと考え、更に工夫を重ねて行く所存です。

菊池委員 ・開館40周年を迎え、記念事業がありご苦労様です。「重点取組」の中で、市民学芸員の参加事業が多く見られることは、博物館のこれまでの成果を十分に発揮できると思われ、楽しみである。市民学芸員のハードルをあまり上げすぎず、参加しやすい環境作りが必要である。

事務局 ・市民学芸員は、個人によって目標もモチベーションも様々なので、参加する機会を多く設定する中で、自分に合った活動を見つけられるように促しています。昨年度から開催している市民学芸員養成講座では、月1回の講座を重ねる中で、博物館に来ることを習慣づけるのも狙いの1つです。

唐木委員 ・昨年の12月に、いすみ市郷土資料館が開催していました法興寺の仏像展を見に行ってきた。一地方の町の寺に、あれだけそろった仏像がある事に驚きました。多分、仏像展を見た、いすみ市のみなさんは、この文化財に誇りを持ったのではないかと思います。袖ヶ浦にも、劣らず素晴らしい文化財があると思います。文化財を一堂に博物館で公開する事には、いろいろな制約があって難しい面があると思います。しかし是非、市民の皆さんに、袖ヶ浦にもこんなに素晴らしい、文化財があるという事を知ってもらう為にも、インパクトのある文化財の展示会を企画して欲しいと思います。

高橋委員 ・去年は中島先生の企画展がありましたが、今度は辻元先生ということで期待しています。袖ヶ浦にもいろいろな文化人がいますが、自分たちだけで発表しているので、このような機会はもっとあった方がいいと思います。

事務局 ・博物館の学芸員だけでは、専門も限られており、企画にも限界があるので、協議会委員や市民学芸員・友の会をはじめ、市皆の要望を取り入れながら、魅力ある事業を展開していけるよう努力します。

議題（３）その他

伊藤委員長 ・袖ヶ浦のコロナが落ち着いてくれば、活動が予定通り進むと思います。

武田副委員長 ・コロナ禍、職員の健康に注意してください。

篠原委員 ・資料の訂正をお願いします。４ページの古文書いろはの会活動、月１回となっていますが、（月２回）。１１ページの３月いろはの会 第２・４金曜日です。よろしくお願い致します。

事務局 ・ご指摘ありがとうございます。訂正いたします。１１ページについては、本来、「内容等」の欄に入るべきところですので、削除いたします。

友田委員 ・協議会委員でいながら、博物館の事業を十分に把握していません。令和４年度はもっと博物館に足を運ぼうと思います。

前沢委員 ・校外学習の際に支援をいただいている市民学芸員の方にも感謝している。以前のように教員対象の研修が多く行われると良いと思っている。
・１年間ありがとうございました。学校も積極的に博物館と連携して、新しい挑戦ができると良いと思っています。そんな アイディアを出し合う機会もあっていいと思っていますので、学校から提案できるよう頑張ります。

事務局 ・教員対象の研修については、総合教育センターとも情報共有し、より学校のニーズに応えられるように前向きに検討いたします。先生や児童・生徒のアイディア、学校からの提案、是非参考にできればと思います。

唐木委員 ・市原市に開館する新しい博物館について。これはお願いです。市原市に今年の秋に博物館が開館予定と聞いています。もちろん、個人で見学に行く事は可能ですが、新しい博物館という事で、見学すれば、何かしら得るものが

あると思います。ここは是非、協議会としての見学を今年の予定の中に企画して欲しいと思います。

事務局 ・ご提案ありがとうございます。実現できるように調整したいと思います。

高橋委員 ・文化協会45周年の市長挨拶の中で、市役所新庁舎の2階には自由に展示に使えるスペースがあるという話があった。そういった場所の活用も含め、文化の豊かな町づくりの一環として、文化協会として何かお手伝いできることがあれば考える。

・職員はコロナの中でよくがんばっている。学芸員のような人材がたくさん増えて博物館の活動がより活発になることを期待している。

事務局 ・文化協会とは、それぞれ協力できることがあると思いますので、相互に情報を交換しながらよりよい連携ができるよう検討していきたいと考えます。

以上

令和３年度第３回袖ヶ浦市郷土博物館協議会

会議資料

議 題

- (１) 令和３年度郷土博物館事業の成果と課題について（途中経過 １月３１日現在）
- (２) 令和４年度袖ヶ浦市郷土博物館経営方針及び重点施策(案)並びに
令和４年度事業計画（案）について

第 2 0 期袖ヶ浦市郷土博物館協議会委員名簿

氏 名	選 出 区 分	備 考
まえざわ ゆきお 前沢 幸雄	学校教育 昭和小校長	再任 2 期目
たかはし かよこ 高橋 佳代子	社会教育 文化協会	再任 5 期目
ともだ けんじ 友田 賢司	社会教育 子ども会育成会	新任
たけだ ひろし 武田 弘	社会教育 郷土博物館友の会	再任 5 期目
かとう みどり 加藤 みどり	社会教育 市民学芸員	再任 5 期目
いわさき てるよ 岩崎 照代	家庭教育 放課後子ども教室スタッフ	再任 5 期目
いとう まこと 伊藤 誠	学識経験者	再任 8 期目
きくち しんたろう 菊池 眞太郎	学識経験者	再任 5 期目
しのはら みちよ 篠原 美智代	学識経験者	再任 4 期目
からき よしあき 唐木 義昭	学識経験者 公募委員	再任 2 期目

任 期 令和 3 年 2 月 1 日から令和 5 年 1 月 3 1 日まで

議題（１） 令和３年度郷土博物館事業の成果と課題について（途中経過1月31日現在）

(1/31現在)

No.	事業名	事業概要と主な取り組み	時期・回数	参加対象者・ 人数・件数等
1	展示更新 推進 事業	★常設展 本館は、映像・歴史・民俗・昭和の暮らし・上総掘り・国史跡山野貝塚各部屋の展示及び情報提供によって、袖ヶ浦市の暮らしの移り変わりを理解しやすく紹介した。アクアラインなるほど館・旧進藤家住宅・万葉植物園等の屋外展示施設の有効活用を図っている。 また、市民の知的要求に応えるとともに、リピーターの確保に努めるため、企画展・ロビー展等を行った。 ※アクアラインなるほど館は新型コロナウイルス感染症対策のための令和２年3月5日から休館が継続し、令和４年１月22日から開館した。	令和4年1月31日現在入館者数 ()内は令和2年度の実績	
			本 館	18,747人 (11,391人)
			なるほど館	325人 (0人)
			旧進藤家住宅	12,268人 (8,071人)
			合 計	31,340人 (19,462人)
		●事業目標 本館常設展入館者数 32,500人以上		18,747人
		★企画展		
		2021年企画展 袖ヶ浦市市制施行30周年記念 袖ヶ浦の美術 中島敏明展－画業50年の軌跡「elegyと慈愛」－	4月1日～ 4月18日 【3月23日～ 4月18日】	2,169人 【3,663人】
		企画展Ⅰ「病と医療」	5月1日～ 7月18日	5,304人
		市制施行30周年記念特別展「かつて見た袖ヶ浦の海－海から見つめる袖ヶ浦の100年－」	10月2日～ 12月12日	5,641人
		企画展Ⅱ「らくがく縄文館－縄文土器のマナビを楽しむ－」	1月15日～ 2月27日	1,129人
		市制施行30周年記念 企画展Ⅲ「アクアラインとなるほど館の軌跡」 ※本館ロビー展示の見学人数	1月22日～ 3月23日	992人
		●事業目標 企画展・特別展入館者数 3,000人以上／回	実績値	15,235人
		★本館ロビー展示・ミニ企画展		
		ロビー展 見て☆コレ！2 そではく 見てみて！ コレクション 『袖ヶ浦市史研究』と一緒に 見てみて！	4月1日～ 4月18日 【3月23日～ 4月18日】	2,169人 【3,663人】
		ミニ展示 祝！世界文化遺産への登録勧告 北海道・北東北の縄文遺跡群 一特別史跡 三内丸山 遺跡時代の袖ヶ浦－	6月12日～ 9月30日	5,173人
		蔵波城跡御城印発行記念 蔵波城・久保田城と戦国時代の江戸湾	8月1日～ 1月19日	9,635人
		友の会「盆栽愛好会」秋季盆栽展（会場：旧進藤家住宅）	11月12日～ 11月14日	463人
		市民学芸員郷土を学ぶ会 自主企画展示「盃状穴（はいじょうけつ）調査グループ調査報告」 （特別展示室前通路パネル展示）	1月22日～	667人
		市民学芸員葉月の会 自主企画植物画展『ソデフローラⅨ』 （本館ロビー展示）	3月27日～4月 10日	未実施
		市民学芸員自主企画展示「おひなさま」（旧進藤家住宅・本館ロビー）	2月下旬～ 3月31日	未実施
		●事業目標 旧進藤家住宅各種展示 年1回以上	実績値	1回
		■成果 企画展・特別展からロビー展示まで、多岐にわたる内容で展示を行い、市民への資料公開、情報提供に努めることができた。 特に、特別展「かつて見た袖ヶ浦の海」は、海の学びミュージアムサポートの支援も受け、内容の充実した見ごたえのある展示に仕上がっており、来館者から新たな情報の提供を受けるなどの双方向性もあり、今後の常設展示更新や調査研究に与える影響も大きいものとなった。 令和2年3月から休館していたアクアラインなるほど館を会場とした企画展Ⅲ「アクアラインとなるほど館の軌跡」を開催し、長く保管されたままになっていたアクアライン関係の資料を公開することができた。		
		■課題 本館常設展入館者数は、1月31日現在18,747人で、事業目標の32,500人には達しない見込みである。新型コロナウイルス感染拡大前の令和元年度と月別入館者数を比較した場合、令和元年に台風による休館日があった9月・10月以外はすべて令和元年度を下回っている。この結果は、入館手続きの煩雑さや人数制限といった制約も含め、未だにコロナ禍以前までには入館者が戻っていないことを示している。新型コロナウイルス感染症の収束はまだ遠く、参加型のイベントが縮小傾向にある中、展覧会の需要は大きいと考えられるので、さまざまな世代や志向の利用者の要望に応えられるように、歴史・考古・民俗といったこれまでの郷土博物館のジャンルに偏らず、自然科学等の分野も取り入れた多様な展示を企画していくことが望まれる。 また、アクアラインなるほど館が休館したままだったので、アクアラインなるほど館との相乗効果が得られなかったことも本館の入館者数に影響していると思われる。アクアラインなるほど館については、展示施設として、今後も有効な活用方法を検討していく必要がある。 万葉植物園について、歌碑に現代語訳がほしい等の要望があり、屋外展示施設としての充実を図るためにも、市民学芸員と協働で整備していく。		
2	地域資料 管理活用 事業	館蔵資料（古文書等）の台帳作成及び整理や閲覧対応（デジタル公図を含む）を行っている。収蔵資料の保存修復処理を行うとともに埋蔵文化財写真のデジタル化も行い、次世代に引き継いでいく。収蔵環境の維持と整備にも努め、会計年度任用職員を雇用し、収蔵庫の資料整理を行った。博物館の収集・収蔵資料を整理・情報化し、その成果の一部を『袖ヶ浦市史研究』第21号として刊行するため、原稿を募集した。	通 年	

2	地域資料 管理活用 事業	●事業目標 館蔵史料の保存・修復を行う。	実績値	1件（奈良輪漁協資料：35点）
		収蔵庫の資料整理と活用しやすい状況の維持		通年実施
3	博学連携 事業	『袖ヶ浦市史研究』、博物館ホームページによる情報発信	実績値	市史研究第21号原稿募集、ホームページ更新
		■成果 令和3年度は14件の寄贈を受けた。埋蔵文化財写真のデジタル化は、以前は委託により進めてきたが、昨年度から会計年度任用職員が作業を行い、効率的に進めることができて、18遺跡分を終了した。館蔵資料修復も委託により計画的に進んでいる。『袖ヶ浦市史研究』第21号の原稿募集には、11名の応募があった。 ■課題等 町史・市史編さんの時に収集された古文書等について確認しながら再整理を行っているが、資料自体劣化しているものも多く取り扱いが難しいため、時間がかかっている。市内に所在する資料について、市史編さん以降調査を実施していないが、散逸を防ぐためには情報収集、調査が必要である。 ホームページの資料紹介コーナー「見てコレweb」を開設したが、あまり更新ができなかったため、適宜更新できるようにする。		
3	博学連携 事業	博物館が学校と連携し、学校教育の中で博物館の施設や資料を活用することで、子どもたちの経験値向上と郷土愛の育成を図る。体験学習等への市民学芸員（ボランティア）の参加により、大人も子供も育つ世代間交流の場としても機能している。	通 年	（ ）内は令和2年度実績
		校外学習支援（●事業目標 年15校）		12校1,004人（3校188人）
		アウトリーチ活動（●出前展示・出前授業）（事業目標 年3件）		8件691人（4件473人）
		学習相談		11件（3件）
		職場体験（市内中学2年生）		0校0人（0校0人）
		山野貝塚学習プログラム実践		1件
		実物資料貸し出し（●事業目標 年6件）		5件43点（8件104点）
		図書貸し出し（物流システム利用、ビデオも含む）		3件6冊（4件35冊）
		博物館実習生受入		3校3人（5校5人）
		■成果 小学校3年生・6年生の体験学習については、後半はコロナ禍により中止となった学校もあったが、密と接触を避けた体験プログラムについて検討し、学校との打ち合わせを詳細に行ってできる限り要望に応え、実施した。コロナで中止となった学校にも資料貸出等で対応した。中学校と連携した山野貝塚の学習プログラムは、1回であったが実践の機会を得て、好評であった。 ■課題 物流システムの利用や学校への資料・図書の貸し出しについては、博物館の蔵書リストを情報として提供しているが、まだ活用する学校は限られているため、更なるPRが必要である。教育センターにある教材貸出セットについて、内容の点検と貸出方法を検討し、見直しを図る必要がある。 山野貝塚学習プログラムは、今後も内容の充実を図りながら実践していく。		
4	調査研究 事業	地域の歴史に関する資料の収集・保存等の調査や企画展に関する調査を行うとともに、学芸員の個別調査研究を進めた。 ・袖ヶ浦市の縄文時代・弥生時代に関する調査 ・中世荘園に関する調査 ・民俗・祭祀に関する調査 ・袖ヶ浦市内の生物に関する調査 ほか	通 年	
		■成果 調査の成果を展示や教育普及事業に活用することができた。 ■課題 学芸員が業務の中で調査に携わることができる時間が限られており、十分な調査ができていない。		
5	教育普及 事業	地域に根ざした博物館活動、市民の学習意欲に応えられる博物館活動の一環として、各種講習・講座の充実を図るとともにミュージアム・フェスティバル等の普及活動にも取り組んだ。		（ ）内は令和2年度実績
		★博物館講座「袖ヶ浦学」 歴史・民俗分野を主としながらも、多角的に「袖ヶ浦」に迫る講座内容とした。	年1回	
		第159回 近代における千葉県と疫病 ー千葉県文書館の企画展からー 講師：豊川 公裕 氏（千葉県文書館） 企画展Ⅰ「病と医療」関連講座/会場：根形公民館2階視聴覚室	6月12日	45人
		第160回 袖ヶ浦市史研究第20号刊行記念 古墳時代前期首長墓の分布より見た君津地方の地域性 講師：酒巻 忠史 氏（木更津市教育委員会文化課職員）『袖ヶ浦市史研究』第20号刊行記念/会場：根形公民館2階視聴覚室	8月28日	31人
5	教育普及 事業	第161回 東京湾の過去・現在・未来 ーいきものと漁業の歩みー 講師：鳥羽 光晴 氏（東京海洋大学客員教授） 特別展「かつて見た袖ヶ浦の海ー海から見つめる袖ヶ浦の100年ー」関連事業/会場：長浦おかのうえ図書館視聴覚ホール	11月20日	34人

★そではく体験会 6月5日(土)・6日(日)の2日間のミュージアムフェスティバルを予定していたが延期となり、名称と内容を変更し、10月9日(土)に規模縮小して行った。	10月9日	267人 (R2年は中止)
★自然と歴史の散策会 県内外の史跡・博物館等を見学し、歴史に親しむとともに市民の交流の場として、事業を展開している。例年、年2回実施しているが、新型コロナウイルスの影響により、今年度は中止した。	0回	
★博図公連携事業等(公民館・博物館での出前講座等のアウトリーチ)	通 年	
袖ヶ浦市民会館 乳幼児家庭学級 ザリガニ釣り体験	7月10日	55人
総合教育センター なつやすみ調べ学習相談会【歴史・郷土】【生物】	7月28日	16人
袖ヶ浦公園管理組合 袖ヶ浦公園動植物観察会	7月29日	8人
長浦公民館 子育てパパ応援講座 親子で虫取り	9月4日	28人
安房学講座 房総の熊野信仰	9月5日	新型コロナウイルス 感染拡大防止のため 中止
房総古代道研究会 望陀布と古代の紡織	9月18日	40人
根形公民館第3回地域再発見講座 袖ヶ浦の熊野信仰	9月18日	16人
袖ヶ浦市市制施行30周年記念事業 みんなの里まつり 袖ヶ浦市の有形文化財と万葉植物園を知ろう!	9月19日	16人
アクアイースト観光連盟御城印ツアー	10月7日	21人
根形公民館ニコニコ教室 根形地区に関する歴史講話(根形公民館視聴覚室)、常設展・特別展・収蔵庫見学(袖ヶ浦市郷土博物館)	10月13日	33人
退職校長会(根形地区散策)	10月20日	10人
平岡公民館 ひらおかシニアセミナー 第5回ひらおかシニアセミナー ウォーキング「下泉地区文化財探訪」	11月12日	17人
市民会館子どもチャレンジ教室 第4回子どもチャレンジ教室 奈良輪めぐり	11月20日	13人
市民会館男性セミナー 山野貝塚現地見学、山野貝塚出土遺物速報展(@郷土博物館) 見学	12月12日	20人
市民会館地域人材育成講座 第1回	12月19日	8人
袖ヶ浦市観光協会 御城印発行記念ツアー	2月11日	新型コロナウイルス 感染拡大防止のため 中止
市民会館地域人材育成講座 第3回	2月27日	未実施
★その他各種普及事業 市民学芸員や博物館友の会のワークショップや単発的な各種講座等を開催している。	通 年	
かずさの国 風あげフェスタ(海浜公園)	5月4日	新型コロナウイルス 感染拡大防止のため 中止
1日ジュニア学芸員体験「上池いきもの調査隊!」(博物館実習関連事業)	7月31日	16人
企画展Ⅰ「病と医療」展示解説会(第1回)	5月23日	10人
企画展Ⅰ「病と医療」展示解説会(第2回)	6月19日	15人
企画展Ⅰ「病と医療」展示解説会(第3回)	7月4日	18人
袖ヶ浦市市制施行30周年記念事業 令和3年度特別展 かつて見た袖ヶ浦の海 ー海から見つめる袖ヶ浦の100年ー 関連事業 展示解説会(第1回) ※午前・午後の2回	10月9日	32人
袖ヶ浦市市制施行30周年記念事業 令和3年度特別展 かつて見た袖ヶ浦の海 ー海から見つめる袖ヶ浦の100年ー 関連事業 展示解説会(第2回) ※午前・午後の2回	11月14日	17人
袖ヶ浦市市制施行30周年記念事業 令和3年度特別展 かつて見た袖ヶ浦の海 ー海から見つめる袖ヶ浦の100年ー 関連事業 盤洲干潟を知ろう!干潟の生き物観察会	10月17日	雨天中止
袖ヶ浦市市制施行30周年記念事業 令和3年度特別展 かつて見た袖ヶ浦の海 ー海から見つめる袖ヶ浦の100年ー 関連事業 親子で海苔すき体験会ー袖ヶ浦の海苔づくりをしろうー	1月15日	新型コロナウイルス 感染拡大防止のため 延期
企画展Ⅱ 令和3年度出土遺物公開事業 らくがく縄文館ー縄文土器のマナビを楽しむー 関連事業 講座	2月5日	新型コロナウイルス 感染拡大防止のため 中止
企画展Ⅱ 令和3年度出土遺物公開事業 らくがく縄文館ー縄文土器のマナビを楽しむー 関連事業 展示解説会(第1回)	1月16日	20人
企画展Ⅱ 令和3年度出土遺物公開事業 らくがく縄文館ー縄文土器のマナビを楽しむー 関連事業 展示解説会(第2回)	2月19日	未実施
企画展Ⅱ 令和3年度出土遺物公開事業 らくがく縄文館ー縄文土器のマナビを楽しむー 関連事業 ワークショップ 「土器のペーパークラフトをつくろう」(第1回・第2回)	1月29日	新型コロナウイルス 感染拡大防止のため 中止
初歩から始める大人のための縄文講座 ー縄文時代を知ろう!ーpartⅢ 第1回 縄文時代ってどんな時代 講師:上守 秀明氏(千葉県教育振興財団職員)	8月26日	12人
初歩から始める大人のための縄文講座 ー縄文時代を知ろう!ーpartⅢ 第2回 そでがうらの縄文時代 講師:西原 崇浩(袖ヶ浦市郷土博物館館長)	9月4日	17人
初歩から始める大人のための縄文講座 ー縄文時代を知ろう!ーpartⅢ 第3回 加曽利貝塚のすがた 講師:長原 亘氏(千葉市立加曽利貝塚博物館職員)	10月16日	16人
初歩から始める大人のための縄文講座 ー縄文時代を知ろう!ーpartⅢ 第4回 加曽利貝塚発掘調査見学・荒屋敷貝塚見学 講師:千葉市埋蔵文化財調査センター職員	11月13日	13人

5	教育普及 事業	初歩から始める大人のための縄文講座 ～縄文時代を知ろう！～partⅢ 第5回 「令和3年度山野貝塚講演会 山野貝塚のこれからを探る」へ参加	1月29日	新型コロナウイルス 感染拡大防止のため 中止
		初歩から始める大人のための縄文講座 ～縄文時代を知ろう！～partⅢ 第6回 企画展Ⅱ「令和3年度出土遺物公開事業 らくがく縄文館－縄文土器のマナビを楽しむ－」展示解説会	2月26日	未実施
		上総掘りの技術記録映像制作	9月～3月	
		上総掘り体験講座（第1回）座学「上総掘りの技術と歴史」講師：上総掘り技術伝承研究会 ※講座生5名・袖ヶ浦高校生徒4名	10月3日	9人
		上総掘り体験講座（第2回）「コシタ作り」講師：上総掘り技術伝承研究会	10月17日	4人
		上総掘り体験講座（第3回）「クサビ作り」講師：上総掘り技術伝承研究会	11月3日	9人
		上総掘り体験講座（第4回）「竹の採取」講師：上総掘り技術伝承研究会	11月7日	9人
		上総掘り体験講座（第5回）「竹ひご作り」講師：上総掘り技術伝承研究会	11月21日	9人
		上総掘り体験講座（第6回）「足場の組み方」講師：上総掘り技術伝承研究会	11月28日	8人
		上総掘り体験講座（第7回）「足場の組み方」講師：上総掘り技術伝承研究会	12月5日	5人
		上総掘り体験講座（第8回）「上総掘り井戸見学」	12月19日	7人
		上総掘り体験講座（第9回）「竹ひご継ぎ」講師：上総掘り技術伝承研究会	1月8日	7人
		上総掘り体験講座（臨時講座）「掘削体験①」講師：上総掘り技術伝承研究会	1月16日	3人
		上総掘り体験講座（第10回）「掘削体験②」講師：上総掘り技術伝承研究会	1月22日	9人
		【協働事業】友の会主催「もっと知りたい講座」講師：平田和弘氏（千葉県立中央博物館）	12月18日	26人
		風の会活動（新春風揚げ会・かずさの国風揚げフェスタ） ※会員数		17人
		土器づくりの会活動（成形～焼成を年1回）※会員数		7人
		仏像を学ぶ会の活動（仏像見学・学習会）※会員数		7人
		何でも有り会の活動（見学・学習会等）※会員数		10人
		古文書いろはの会の活動（月2回定例会）※会員数		13人
		機織りの会の活動（月1回定例会）※会員数		4人
		盆栽愛好会の活動（盆栽展示 年2回程度）※会員数		4人
		【協働事業】新春風揚げ会	1月22日	新型コロナウイルス 感染拡大防止のため 中止
		【協働事業】盆栽展 ※展示作業参加者数	11月12日～ 11月14日	4人
		★友の会活動への支援 7グループ（風の会・土器作りの会・仏像を学ぶ会・何でも有り会、古文書いろはの会、機織りの会、盆栽愛好会）が自主的に活動している。 会報49・50号を発行。友の会主催による講座「もっと知りたい講座」を開催した。自主活動のほかに館との共催事業も実施しているが、コロナ禍により実施できなかったものが多い。	通 年	会員63人
		★上総掘り技術伝承研究会の活動支援 例年は博物館水のふるさと内で掘削等の活動をしているが、令和3年度は博物館が国庫補助事業として主催する上総掘り体験講座の講師として参加してもらっている。 国庫補助事業「民俗文化財等伝承・活用事業 上総掘りの技術」は令和2～5年の期間に実施し、令和3～5年度の3か年で上総掘りの技術を後世に伝承し継承するための映像記録を制作する。（各年1本制作）	通年 （毎週土曜 日、もしくは 日曜日活動）	会員16人
		上総掘りの技術記録映像制作検討委員会 ※委員5名、オブザーバー3名（文化庁ほか） 第1回 上総掘りの技術記録映像製作委託事業の内容について	6月28日	8人
		上総掘りの技術記録映像制作検討委員会 第2回 記録映像の編集状況の確認と評価について	7月31日	8人
		●事業目標 協働事業の実施回数（年5回以上）※市民学芸員協働事業を含む	実績値	6回
		■成果 公民館等から、見学対応や講師の依頼を多く受け、これまで博物館とは疎遠であった公民館利用者にも活動を周知することができた。コロナ禍により、多くの事業が中止・延期となる中、ミュージアムフェスティバルは、内容・規模を変更した上で開催することができ、新たなイベントの実施方法として、1つの指標となった。博物館と友の会の協働事業は、3回実施した。 国庫補助事業『民俗文化財等伝承・活用事業』は、上総掘り体験講座と上総掘りの技術の記録映像撮影を実施した。体験講座には、講座生5名の他、袖ヶ浦高校の生徒が4名参加し、将来的な技術伝承の担い手として希望が見いだせるものとなった。		
		■課題 コロナの影響で活動が自粛となり、友の会の活動が停滞している。講座については、感染防止対策を徹底した上で対面で実施したが、非常時でも対応できる講座のあり方やオンライン講座などについて、他館の事例も参考に検討する必要がある。		

6	市民学芸員協働事業	きめ細かな博物館活動（サービス）の展開を目指し、ボランティア活動による新たな学びの場を提供するとともに、市民相互交流を促すことを目的として活動を展開し、自主企画展の企画・運営、ミュージアム・フェスティバル、博学連携事業、万葉植物園手入れ、資料管理支援等で活躍している。 今年度も昨年度に引き続き、新規市民学芸員の獲得のため、通年での連続講座として市民学芸員養成講座を開催し、既存の市民学芸員の意識向上と学びサポートのため、フォローアップ研修を行った。	通 年	36人
		市民学芸員養成講座①オリエンテーション「令和のそではくビジョンと皆さん」 ※講座生7名（1名は第8回から参加）	4月17日	6人
		市民学芸員養成講座②小学校6年生体験学習スタッフ養成講座	5月8日	8人
		市民学芸員養成講座③博物館の仕事を見よう「バックヤードツアー」	6月12日	6人
		市民学芸員養成講座④I P Mについて学ぼう（博物館実習と合同開催）	7月30日	4人
		市民学芸員養成講座⑤そではく大解剖！そではく辛口採点会	8月21日	6人
		市民学芸員養成講座⑥博物館の調査研究とフィールドワークの心得	9月11日	5人
		市民学芸員養成講座⑦フィールドワーク実習	10月23日	4人
		市民学芸員養成講座⑧小学校3年生体験学習スタッフ養成講座	11月27日	6人
		市民学芸員養成講座⑨バス移動講座 「博物館と市民のかかわり方ー睦沢町立歴史民俗博物館の活動に学ぶー」 睦沢町立歴史民俗資料館見学、資料館学芸員の案内で町内の文化財見学	12月11日	9人
		市民学芸員養成講座⑩資料整理の基礎 ※1月22日から延期	3月5日	未実施
		市民学芸員養成講座⑪修了式・記念講演（市民学芸員第2回フォローアップ研修と合同） 講師：睦沢町立歴史民俗資料館 学芸員久野一郎氏 ※2月11日から延期	3月19日	未実施
		市民学芸員第1回フォローアップ研修 「史跡・文化財とまちづくりー富津市の事例に学ぶー」 佐貫城址他の見学（バス移動研修）	12月15日	10人
		企画展ワーキンググループバス移動研修「菱川師宣記念館の見学と内房の富士」	11月26日	8人
		小学校体験学習協力 ※11回実施分の市民学芸員延べ人数		54人
		【協働事業】こどもの日イベント 「市民学芸員と遊ぼう！」	5月5日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
		【協働事業】七夕飾り※展示作業参加者		4人
		【協働事業】十五夜コンサート		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
		【協働事業】市民学芸員によるお飾り作り体験会 ※一般募集なし、市民学芸員の学習会として実施	12月21日	7人
		【協働事業】市民学芸員郷土を学ぶ会 自主企画展示「盃状穴調査グループ調査報告」（特別展示室前通路パネル展示）※展示作業参加者	1月22日～	1人
		【協働事業】市民学芸員葉月の会 自主企画植物画展『ソデフローラIX』（本館ロビー展示）※展示作業参加者	3月27日～4月	未実施
		【協働事業】ひな人形展示 ※展示作業参加者	2月下旬	未実施
		万葉グループ活動（月1回）※グループ人数		14人
		葉月の会活動（月1回） ※会員数		9人
		郷土を学ぶ会活動 ※会員数		4人
		企画展ワーキンググループ ※グループ人数		13人
		定例会（月1回程度） ※6回実施分の延べ人数		63人
		■成果 昨年度に引き続き市民学芸員養成講座を開催して12月までに9回の講座を終了し、7名の新規市民学芸員が加入した。コロナ禍で中止を余儀なくされた事業が多かったが、博物館と実施する市民学芸員の協働事業は1月末までに3回実施した。来年度の博物館開館40周年記念企画展「富士山」へ向けて企画展ワーキンググループを結成し、分担して資料調査等を進めることができた。		
		■課題 既存の市民学芸員の育成に加え、新規の市民学芸員のモチベーション維持のため、フォローアップ研修等の充実が求められる。コロナ禍による活動中止のため、市民学芸員の参加離れが懸念される。		
7	施設管理事業	博物館施設として恒常的に適正な施設環境を整備するために、本館及び屋外展示施設等の維持管理（修繕・工事・清掃・警備委託・緑地管理・各種点検業務・資料くん蒸・環境測定等）を行った。また、資料の適正な管理のため、収蔵庫の空調機を修繕し、年間を通してI P M（総合的有害生物管理：日常的に収蔵環境を管理し、薬剤だけに頼らず文化財等をカビや虫等の有害生物から防除する方法）の理念に基づいた展示環境・収蔵環境の管理を実践した。 博物館来館者が安心・安全に見学できるよう月1回の安全点検と消防署の協力を得て、消火訓練を実施した。 ・修繕11件 - 学芸員室他空調機修繕 - 歴史展示室排煙窓修繕 他 ・工事1件 - 研修室屋上防水改修工事	通 年	
8	博物館協議会	博物館の運営全般に関し、館長の諮問に応じ、博物館の各種事業企画等について審議するとともに、市民とともに歩む博物館活動の充実について審議した。 第1回 7月16日（金）郷土博物館の運営に関する点検と評価について ほか 第2回 11月17日（金）「郷土博物館の使命ーそではく30の展望ー」の見直しについて ほか 第3回 2月18日（金）令和3年度郷土博物館事業の成果と課題について ほか	通 年	委員10人

議題(2) 令和4年度袖ヶ浦市郷土博物館経営方針及び重点施策(案)
並びに令和4年度事業計画(案)について

令和4年度袖ヶ浦市郷土博物館経営方針及び重点施策(案)

1. 経営方針

郷土博物館では、第3期教育ビジョンの基本目標である「未来を創る 心豊かで いきいきとした人づくり」の実現に向け、生涯学習活動の機会や場を提供し、地域の人づくりや絆づくりに貢献するとともに、郷土の歴史と文化を学び後世に伝える活動を推進します。

そのため、郷土博物館は、引き続き「袖ヶ浦市郷土博物館の使命」に示す4つの項目を重点施策とし、国史跡・山野貝塚をはじめ、市内の文化遺産（地域資料）についての調査研究活動及び収集・保管・展示を行い、市の歴史を探ります。

また、市民学芸員・友の会等との協働により教育普及事業・博学連携事業のさらなる充実を図り、市民や学校への学習支援を行い、市民活動の場、知的交流の場としての利用を促進するとともに、その担い手である市民学芸員・友の会員をはじめとしたボランティアの育成にも力を入れて参ります。

そして、新型コロナウイルス感染症対策も含め、多くの来館者が安心・安全に利用していただけるように、施設を適切に管理します。

なお、令和4年度は開館40周年にあたるため、市民とともに歩む博物館として更なる前進を目指し、市民学芸員自主企画展をはじめとした記念事業に取り組みます。

2. 重点施策

(1)地域の文化的な個性を探り、継承し、その発信拠点となります。

博物館活動の原点である地域における調査研究と地域資料の収集・保存・管理に努め、市民の共有財産として次世代に継承します。特に、上総掘りの技術については、記録映像を制作するなど、技術の伝承と保存に努めます。

また、地域資料の調査研究の成果を各事業の開催により市民と共有します。

さらに、ホームページ・新聞等を活用して博物館活動を広くPRし博物館利用の促進を図ります。

調査研究

- ・袖ヶ浦市の縄文時代・弥生時代に関する調査
- ・袖ヶ浦市内の生物に関する調査
- ・中世荘園に関する調査
- ・民俗・祭祀に関する調査 等

地域資料管理活用事業の展開

- ・地域資料の調査収集及び活用
- ・収蔵保管資料の適正な管理
- ・収蔵資料の修復委託（奈良輪漁業組合資料）
- ・ホームページによる情報発信
(事業の目標値：情報メディアによる資料公開 年3回)
- ・古文書等表題データベース作成

- ・埋蔵文化財写真デジタル化
 - ・『袖ヶ浦市史研究』第21号刊行（博物館開館40周年記念号）
- 民俗文化財伝承・活用事業** **令和4年度重点取組**
- ・上総掘り技術の記録映像制作
 - ・上総掘り講座の実施

(2)市民の学習の場・知的交流の場となって、地域文化の向上に貢献します。

市民の学習や知的交流の場として、市民のニーズを考慮しながら、常設展示の部分的な更新を図り、企画展や特別展を計画的に開催します。また、市民が自らの意志で参画できる事業を企画し、地域の学習力や地域文化の向上に貢献します。また、非常時における講座・イベントのあり方や企画展等への来館者対応について、他館の事例等を参考により安全で効果的な方法を模索し、実践します。

博学連携事業は小学校の学習指導要領の改訂も行われ、更なる充実を図るため、身近な学びの場として子どもたちが日常的に活用できるように博物館活動の周知に努めます。

さらに、博物館活動の担い手である市民学芸員や友の会の活動を支援するとともに、新たな人材の発掘と育成を図り、市民と共に歩む博物館活動の充実に努めます。また、市内外の各種団体との連携により地域の魅力発信に努め、地域文化の向上に貢献します。

①展示更新推進事業の展開（事業の目標値：本館常設展入館者数 32,500人以上）

- ・企画展3回（事業の目標値：企画展入館者数 3,000人以上／回）

i 企画展Ⅰ「館蔵資料展 くらし・おひろめⅡ」（仮称）

ii **開館40周年記念 市民学芸員自主企画展「富士山」** **令和4年度重点取組**

iii **企画展Ⅱ 袖ヶ浦の美術Ⅱ「辻元大雲展」**（仮称） **令和4年度重点取組**

（事業の目標値：特別展・企画展及び常設展示への収蔵資料活用 年2件

企画展開催時の関連事業実施 企画展1回につき2回）

- ・常設展示の部分更新（中世、近現代）
- ・旧進藤家住宅での各種展示（年1回）
- ・ロビー展示・ミニ企画展等の開催

・**万葉植物園の活用（市民学芸員協働実施）** **令和4年度重点取組**

②教育普及事業の推進（事業の目標値：諸団体との協働事業の実施回数 年5回）

- ・考古学専門講座の開催
- ・友の会、市民学芸員、上総掘り技術伝承研究会等諸団体との協働による事業の開催
- ・博物館講座「袖ヶ浦学」の開催
- ・友の会との共催による自然と歴史の散策会
- ・夏の子ども向けイベントの開催

③博学連携事業の拡充

- ・校外学習支援（市内・市外）（事業の目標値 年15件）
- ・資料の貸出（事業の目標値 年6件）
- ・学習相談
- ・教員対象研修の実施
- ・学校向けワークシートの作成・活用

- ・アウトリーチ活動(出前講座・出前授業・現場出張)
(事業の目標値：アウトリーチ 実施回数 年3件)
- ・山野貝塚体験型プログラム実践 (中学生版)
- ・学校図書館との連携促進 (物流システムの活用)

④みんなにやさしい事業の推進

- ・高齢者施設との連携 (博福連携：博物館と福祉施設等の連携)
- ・多言語対応の推進
- ・ハンズオン (実際に手を触れるなどの体験学習) の充実

⑤ボランティアの養成と支援

- ・市民学芸員主催イベント(子どもの日イベントなど)への支援
(事業の目標値：市民学芸員自主企画事業の実施 年3回以上)
- ・市民学芸員フォローアップ研修の実施と市民学芸員の生涯学習サポート
(事業の目標値：市民学芸員研修の実施 年2回以上)
- ・市民学芸員養成講座の実施と新規市民学芸員の育成 **令和4年度重点取組**
(事業の目標値：講座年8回以上、新規市民学芸員2人以上)
- ・ミュージアムサポーターの募集と育成
- ・市民学芸員『どんぐりの会』会報 (どんぐり便り) の発行
- ・地域史掘り起こし研究への支援
- ・グループ活動の支援
- ・館蔵資料整理

⑥上総掘り技術伝承研究会活動の支援

- ・活動場所の確保
- ・資材調達
- ・活動PR
- ・補助金による活動援助 (動画制作ほか)

⑦郷土博物館友の会活動の支援

- ・『友の会だより 51・52号』の発行
- ・友の会各グループ活動(凧の会・何でも有り会・仏像を学ぶ会・土器作りの会、古文書いろはの会、機織りの会、盆栽愛好会)への支援
- ・友の会グループ主催イベント(新春凧揚げ会、盆栽展示など)への支援
- ・凧の会が参加する「かずさの国 凧あげフェスタ」への協力
- ・「もっと知りたい講座」の開催

⑧幼児期からの博物館体験

- ・そではくのもり (市民サロン) での親子での体験活動

(3)市民の生涯学習拠点としての安全・安心な施設を提供します。

市民の快適な学習環境を整えるために管理施設の安全状況を把握し、安心・安全な施設を維持します。また、不具合が生じた箇所については、修繕等を行い、施設を維持管理していきます。

施設管理事業

- ・安全点検の実施(月 1 回)
- ・避難訓練、消火訓練及び救急訓練の実施
- ・I P M (日常的に収蔵環境を管理し、薬剤だけに頼らず文化財等をカビや虫等の有害生物から防除する方法：総合的病害生物管理) の理念に基づいた展示、収蔵環境管理の実践
- ・日常的な施設の維持管理及び修繕による安全確保

(4)博物館としての独自性を追求します。

学校・他の社会教育機関・博物館等とのつながりや地域の企業、N P O 等との交流・連携をより強化するとともに、袖ヶ浦公園・周辺の遺跡・歴史遺産を活用し、博物館と市民が融合した魅力的な博物館活動を継続します。

① 周辺施設との連携

- ・公民館、図書館等社会教育機関でのアウトリーチ活動（出前講座・展示・現場出張サービス）
- ・袖ヶ浦公園・根形公民館との連携を強化し、事業の相乗効果をはかる。

②郷土博物館実習生の受入

- ・学芸資格取得を目指す学生に対して、博物館法施行規則第 1 条に定める「博物館実習」の機会を提供し、後進の育成を行う。

③各博物館協会協議会等への参加

- ・日本博物館協会、関東博物館協会、千葉県博物館協会、君津地方公立博物館連絡協議会へ参加し、各種団体及び機関との事業連携を図ります。
- ・千葉県史跡整備協議会事業への協力（大会会場市）

④博物館周辺の景観整備

- ・緑地管理
- ・万葉植物園等屋外附属施設管理
- ・公園管理組合との共通認識をもった管理

⑤国県等の博物館施策及び文化財保護行政の動向把握

- ・文化財保護法や文化芸術基本法の改正に基づく国県等の動向並びにこれからの博物館制度の動きを把握する。

⑥庁内関係各課との連携

- ・生涯学習課と連携し、文化財情報の共有や協働事業の実施により相乗効果を高める。
- ・公民館・図書館との連携。

		内容等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
博物館協議会		年3回開催				第1回				第2回			第3回	
教育普及事業	ミュージアム・フェスティバル	年1回開催	第1回実行委員会	第2回実行委員会	4(土)・5(日) 第3回実行委員会									
	講座 袖ヶ浦学	年5回開催		第162回袖ヶ浦学 (友の会共催)		第163回袖ヶ浦学			第164回袖ヶ浦学 (企画展関連講演会)		第165回袖ヶ浦学		第166回袖ヶ浦学	
	博物館学芸員実習	前年度1月に受け入れ要項作成	・大学からの実習依頼文 ・回答			実習予定表作成・送付 7/26(火)～8/5(金)(10日間)博物館実習	7/26(火)～8/5(金)(10日間)博物館実習 大学宛評価表送付							
	その他			上総掘り講座①	上総掘り講座②	上総掘り講座③ 30(土)ジュニア学芸員養成講座	上総掘り講座④	上総掘り講座⑤	上総掘り講座⑥	上総掘り講座⑦	上総掘り講座⑧	上総掘り講座⑨	上総掘り講座⑩	
博学連携事業	校外学習支援等	体験学習支援 学習相談対応 資料・図書貸出	調整中											
	出前授業・展示	アウトリーチ 出前展示の実施												
	その他													
展示更新推進事業	特別展・企画展	企画展年3回開催		4/30(土)～7/3(日) 企画展Ⅰ「館蔵資料展　くらし・おひろめⅡ」					10月2日(土)～12月18日(日) 開館40周年記念　市民学芸員自主企画展「富士山」					企画展「袖ヶ浦の美術Ⅱ　辻元大雲展」
	トピックス展　ミニ展示		ロビー展示「ソデフローラⅩ」				ロビー展示「そではくの40年」(展覧会ポスター展)					ロビー展示「日本の郷土風」		ロビー展示「ソデフローラⅩ」(仮)
	旧進藤家住宅									盆栽展				ひな人形展示(旧進藤家住宅)
	万葉植物園				歌碑の活用									ひな人形展示
地域資料管理活用事業	資料管理活用	・収蔵資料保存管理活用 ・資料燻蒸 ・環境調査委託			環境調査(1回目)				環境調査(2回目)		資料燻蒸			
	史料修復　奈良輪漁協				史料修復委託執行 伺い・契約						史料修復成果品納品			
	『市史研究』第21号	要項整備・原稿募集			編集作業	編集作業	編集作業	編集作業	入稿	校正	刊行			
市民学芸員協働事業	市民学芸員活動	体験学習支援 自主企画展企画ほか ・万葉グループ第3土曜日午前活動(万葉植物園) ・葉月の会　第3土曜日午後活動(体験学習室)	市民学芸員フォローアップ研修	5(水)こどもの日イベント	5(土)・6(日)ミュージアム・フェスティバル　協力			十五夜コンサート		フォローアップ研修(バス移動講座)	お飾りづくり		市民学芸員フォローアップ研修(市民学芸員養成講座と合同)	お雛様飾り
	市民学芸員養成講座		市民学芸員養成講座①オリエンテーション	市民学芸員養成講座②小学校6年生体験学習スタッフ養成講座	市民学芸員養成講座③博物館の仕事を見よう「バックヤードツアー」	市民学芸員養成講座④IPMIについて学ぼう(博物館実習と合同)	市民学芸員養成講座⑤そではく大解剖！そではく辛口採点会	市民学芸員養成講座⑥博物館の調査研究とフィールドワークの心得	市民学芸員養成講座⑦フィールドワーク実習	市民学芸員養成講座⑧よその博物館を見に行こう(バス移動講座)	市民学芸員養成講座⑨小学校3年生体験学習スタッフ養成講座	市民学芸員養成講座⑩資料整理の基礎	市民学芸員養成講座⑪修了式・記念講演会(フォローアップ研修と合同)	
友の会7グループ(仏像を学ぶ会、何でも有り会、土器作りの会、風の会、古文書いろはの会、機織りの会盆栽愛好会)活動		協働事業：自然と歴史の散策会(年2回)ほか 第2・4金曜日古文書いろはの会 毎週水曜日機織りの会		4(火)千葉県主催「かずさの国風あげフェスタ」総会・講演会	第1回自然と歴史の散策会 5(土)・6(日)ミュージアム・フェスティバル協力				第1回役員会	第2回自然と歴史の散策会		新春風揚げ大会	26日(火)第2回役員会	
上総掘り技術伝承研究会		定例活動日 毎週日曜日・又は土曜日	総会		5(土)・6(日)ミュージアム・フェスティバル協力									
休館日(月曜以外)				6(金)		19(火)	12(金)	20(火)	11(火)	4(金) 24(木)	27(火)・28(水)・29(木)・30(金)・31(土)	1(日)・3(火)・4(水)・10(火)	24(金)	22(水)